

# 2019年度事業計画

東葉高速鉄道株式会社

2019年度の事業の実施にあたっては、「第六次経営改善計画」に基づく「安全・自立・共生」を基本施策とし、安全を最優先する姿勢を一層強固なものとしながら、引き続き経営改善に努めるとともに、地域に根差した企業としてお客様のニーズを的確に捉えた事業展開を図ってまいります。

## 1. 安全輸送の確保

鉄道事業者として最大の使命である安全輸送を確保し、開業以来の運転無事故記録を今後も継続すべく、引き続き施設の適切な保守管理や安全管理体制の更なる強化等により、お客様が安心して利用できる鉄道を目指します。

- (1) 高架橋耐震補強
- (2) 飯山満CS-ATC化更新工事
- (3) 東葉勝田台CS-ATC機器製作
- (4) 通信用ケーブルの追加敷設（～2020年度）
- (5) 仲木戸変電所保護継電器改良
- (6) 車両基地外周塀更新工事
- (7) 危機管理対策や安全輸送の確保につながる社員教育・訓練の実施
- (8) 異常時総合訓練の実施など全社的な取り組みによる安全管理体制の強化

## 2. サービスの向上

多様化するお客様のニーズを的確に捉え、お客様の視点に立った質の高い輸送サービスの提供に努めます。

- (1) 全保有車両の車内照明のLED化
- (2) 全駅のインターホンの更新
- (3) 飯山満駅及び東葉勝田台駅の案内看板の更新
- (4) 飯山満駅への誘導チャイムの整備
- (5) 「お客様の声」を反映したサービス向上対策の実施

## 3. 財務体質の改善

業務委託内容の精査等により経費を節減するとともに、長期債務に係る金利変動リスクの低減を図り、早期に健全経営が確立できるよう努めます。

- (1) 工事発注時の価格交渉や工程管理の強化による経費増の抑制
- (2) 日常業務の委託先や契約内容、実施周期の見直し等による経費の節減
- (3) 超長期債の導入による金利変動リスクの低減
- (4) 繰上償還の実施による支払利息の軽減

#### 4. 運輸収入の確保

当社線の利用者誘致を図るため、企画乗車券のPRや新たな導入等を積極的に行い、運輸収入の増加に努めます。

- (1) 企画乗車券のPRや新たな導入による鉄道利用の促進
- (2) 情報誌「プチトリ」の発行による当社及び駅周辺情報の発信（年4回）
- (3) 沿線イベント等を通じた東葉高速線の利便性PR
- (4) 村上駅駐車場によるパークアンドライドのPR

#### 5. 関連事業の推進

所有する未利用地や施設を有効に活用し、関連事業による増収に努めます。

- (1) 高架下及びトンネル上への駐車場誘致等による貸付料収入の確保
- (2) 駅構内や車内への広告ポスター等の掲出による広告料収入の確保
- (3) テレビ・映画への撮影協力による施設使用料の確保

#### 6. 地域との共生

当社に親しみを持ってもらったための各種イベントの開催や、地域に根差した企業としての社会的な役割を踏まえ、地域への貢献・地域との共生に努めます。

- (1) 沿線地域が持つ魅力や当社施設を活かしたイベント「東葉健康ウォーク」「東葉サマーコンサート」「東葉家族車両基地まつり」「飯山満駅ふれあいフェスタ」の開催
- (2) 駅公設掲示板や行先表示器等を活用した地域活動への積極的な支援
- (3) 船橋アリーナをホームアリーナとするプロバスケットボールチーム「千葉ジェッツふなばし」への支援

#### 7. 人材育成

社員教育を積極的に推進し、会社を担う人材の育成や技能の習得を図ります。

- (1) 職場内研修の充実及び職場外研修への参加
- (2) お客様へのさらなる接遇及び安全性の向上を目指した社員教育・訓練の実施

以 上

## 損益収支予算

(単位：百万円)

区 分		予算額
経 常 損 益	営業収益	16,799
	旅客運輸収入	16,266
	運輸雑収	533
	営業費用	10,695
	営業費	6,438
	減価償却費	4,257
	営業利益	6,105
	営業外損益	△ 2,130
経常利益		3,975
特別損益		0
法人税等		1,267
法人税等調整額		△ 52
当期純利益		2,760

※記載金額は各項目別に四捨五入して表示

## 設備投資予算

(単位：百万円)

区 分	予算額	備 考
安全対策	1,832	高架橋柱耐震補強 他
サービス向上対策	666	乗越精算機・乗継精算機更新 他
その他	71	
合 計	2,569	